

## 「本邦での COVID-19 感染患者治療の疫学的調査」

### 1. 研究の対象

2020年1月1日から2025年3月31日の期間に、当センター救急診療科で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する治療を受けられた方を対象としています。

### 2. 研究目的・方法

#### (1)目的

2019年12月、中華人民共和国の湖北省武漢市で新型コロナウイルスによる肺炎の集団発生が報告されました。このウイルスによる感染症は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と称されています。COVID-19による感染は世界的に流行し、WHOでは2020年1月30日に緊急事態宣言を行い、3月11日にはパンデミックの宣言がおこなわれました。世界的には中国以外にも感染患者が拡大し、欧米諸国をはじめ、3月24日時点で感染者数は30万人、死亡者数は14000人を超え、感染者の人数は日々数万人を超えるペースで増加しています。また、本邦では1月16日に初めて患者が報告され、2月1日に指定感染症に指定されました。現在(3月24日時点)、本邦でのCOVID-19患者は1000人を超え、死亡者数は40人を超えています。

この新規ウイルスによる感染症にはまだ確立された治療方法がなく、現在行われている治療は、これまでの他ウイルス疾患や肺炎などの治療の経験に基づくところが大きく、本感染の疫学的検討や治療方法に関するデータの集積・解析が、今後のCOVID-19に対する治療の確立には急務であります。この研究の目的は、日本におけるCOVID-19における臨床データ・治療内容を解析し、病態解明・治療法開発の一助とすること、また広島大学主導で全国の多施設でのデータを集め、本邦独自の疫学的評価を行うことを目的としています。

#### (2)方法

診療録より下記の情報を取得し、解析を行います。

#### (3)研究期間

臨床医学倫理委員会承認後から2026年3月31日までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景情報(年齢、性別、身長、体重、病名、現病歴、既往歴、併存症、内服歴、重症度など)、画像診断(X線写真、CT検査、超音波検査など)、バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数など)、治療・管理で使用した薬剤、デバイス(気管挿管、透析など)、検査(動脈血ガス分析、一般血液、血液生化学、ウイルス、血液培養、各種細菌学的検査など)の情報を診療録より取得します。

### 4. 外部への試料・情報の提供

広島大学へあなたの取得した情報を匿名化して送り、解析を行う予定です。提供の際、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

## 5 . 研究組織

### <研究責任者>

大阪急性期・総合医療センター 救急診療科 主任部長 藤見聡

### <研究担当者>

大阪急性期・総合医療センター 救急診療科 副部長 木口雄之

大阪急性期・総合医療センター 救急診療科 診療主任 川田真大

大阪急性期・総合医療センター 救急診療科 診療主任 渡邊篤

### <共同研究機関>

広島大学 大学院医系科学研究科 救急集中治療医学 教授 志馬伸朗

京都府立医科大学附属病院 集中治療部 部長/病院教授 橋本悟

現時点では未定ですが、日本救急医学会・日本集中治療医学会・日本呼吸療法医学会・日本感染症学会・日本化学療法学会・日本呼吸器学会に所属する全国の機関に研究参加を依頼しております。

## 6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター 救急診療科

研究責任者：主任部長 藤見聡

電話 06-6692-1201 内線 7217

研究代表者：広島大学 大学院医系科学研究科 救急集中治療医学 教授 志馬伸朗